

津市での奏功事例

全国的に、住宅用火災警報器を設置していたため、初期消火に成功したり、死者発生を防ぐことができた奏功事例が多く報告されています。津市内でも奏功事例がありましたのでいくつか紹介します。

事例1

橋南地内で、ガスコンロに鍋をかけたまま外出してしまい、鍋が空焚きとなってしまったもの。

隣人が住宅用火災警報器が鳴っているのと、煙臭に気づき119番通報をし、到着した消防隊員によりコンロの火を消し、大事には至らなかった。

事例2

高茶屋地内の住宅で、ガスコンロのグリルで魚を焼いたあと、グリルの火を消し忘れたため、グリルの汁受けに溜まっていた油から発火し、ゴムホースを溶かしたためゴムホースから漏れたガスに引火したもの。

家人は隣の部屋で寝ていたが、住宅用火災警報器の警報音に気づき、素早く消火したため、ぼやで済んだ。

事例3

岩田地内の住宅で、天ぷらをガスコンロで調理後、火を消し忘れたため、油が発火したもの。

家人は居間でテレビを見ていたが、住宅用火災警報器の警報音に気づき、設置してあった消火器で消火したため、ぼやで済んだ。